

2004年1月19日発行

熊本県地域福祉メールマガジン

月刊「みんなでたのしく輪になって」No. 11

【発行】 熊本県健康福祉部福祉のまちづくり課地域福祉企画班

あけましておめでとうございます。

市町村の地域福祉計画や市町村社協の地域福祉活動計画の策定作業が着々と進められたり、既に計画を策定された市町村では計画に基づく各種地域福祉活動が行われていることと思います。

本年最初の地域福祉メールマガジンでは、改めて「福祉のまちづくり課では、こんなことをやっています」ということをPRしたいと思います。課内3つの班の現況はもちろん、セミナー等のご紹介も盛りだくさんですのでどうぞご覧下さい。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

トピックス

福祉のまちづくり課各班からごあいさつ

～わたしたちの班では、今こんなことをやっています～

総務・研修班

- ・地域保健福祉管理者研修会の報告と合併支援研修の案内

地域福祉企画班

- ・熊本県地域福祉支援計画「地域ささえ愛プラン」(素案)の県政パブリック・コメント手続きを行っています
- ・小規模多機能ホーム全国セミナーin くまもと山鹿 のご案内

やさしいまちづくり班

- ・熊本県高齢者及び障害者の自立と社会的活動への参加の促進に関する条例(通称:高齢者や障害者にやさしいまちづくり条例)及び同施行規則の一部改正案へのご意見・ご提案を募集しています

・やさしいまちづくりフォーラムのご案内

総務・研修班

総務・研修班では、住民参加の各種計画づくりとその推進、業務のマネージメント等をポイントにおいた基礎研修、さらに各種専門職の研修等を実施して参りました。

最近行いました研修の一例をご紹介しますと、

1月9日に行われた地域保健福祉管理者研修会には、市町村の保健福祉所管課長の皆様をはじめ、97名の方のご参加をいただき、ヘルスプロモーション研究センターの藤内先生のご指導のもと、「健康増進法の趣旨と健康日本21の地方計画策定・推進について」学ぶ機会を持つことができました。わかりやすいお話で、住民の人達の声に耳を傾けながら行政職員も一緒になって計画づくりに取り組み、推進していくことや、見栄えを気にしない実働可能な計画書づくり、市町村合併があっても地域住民と共に計画を作っておく事の大切さ等、計画書づくりという重い肩の荷をおろし、誰にでも取り組めそうな内容でした。研修終了後「元気が出た、勇気が湧いた。楽になった。」等、受講生のパワフルなうれしい声をたくさんいただきました。ありがとうございました。

2月20日(金)には、県庁にて合併支援研修を計画しております。市町村合併が進む中、合併による保健福祉のあるべき姿を今一度考え、新たな自治体のあり方をめざした研修です。どうぞご参加下さいますようご案内申し上げます。

地域福祉企画班

・熊本県地域福祉支援計画「地域ささえ愛プラン」(素案)の県政パブリック・コメント手続きを行っています

新聞等で既にご存じの方もたくさんいらっしゃるかと思いますが、福祉のまちづくり課発足から9ヶ月、多くの皆様のご協力をいただき、熊本県地域福祉計画「地域ささえ愛プラン」(素案)がパブリック・コメントまでたどり着くことができました。

「地域ささえ愛プラン」は、市町村と社協等の関係機関の皆様にはお配りしているところです。ご覧になって、ご意見・ご感想などがございましたら、どのようなことでも結構ですので、お聞かせいただきたいと思います。皆様のご提案をお待ちしています。

パブリック・コメントについてはこちらからご覧下さい(募集期間は1月30日までです)

<http://www.pref.kumamoto.jp/invited/opinion/index.html>

・小規模多機能ホーム全国セミナーin くまもと山鹿のご案内

来る2月21日(土)～22日(日)の両日、山鹿市の八千代座で「小規模多機能ホーム全国セミナーin くまもと山鹿」が開催されます。このセミナーは、どんなに重い障害を持って、住み慣れた地域に住み続けたいという高齢者の思いに寄り添い、生活を支えるための小規模多機能ホームの魅力についてお伝えするとともに、そこで求められるケアについて考えることを目的としています。

1日目は「地域密着・小規模多機能ホームへの誘い」と題して山鹿市の例をご紹介するほか、「地域密着・小規模多機能ホームを考える」などの討論がなされます。2日目は「地域密着・小規模多機能ホーム その課題と展望を考える」というセッションのほか、午後からは4つにわかれて実践報告セッションも行われます。

小規模多機能ホームは、これからの地域福祉の拠点として非常に有意義な存在となるかと思っておりますので、皆様の参加を心よりお待ちしております。

セミナーについてのより詳しいお知らせは、次号にてお伝えします。

やさしいまちづくり班

- ・熊本県高齢者及び障害者の自立と社会的活動への参加の促進に関する条例（通称：高齢者や障害者にやさしいまちづくり条例）及び同施行規則の一部改正案へのご意見・ご提案を募集しています

県では「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律（通称 ハートビル法）」の改正を契機として、平成7年に制定した「高齢者や障害者にやさしいまちづくり条例・規則」の改正を検討しています。

改正は、高齢者や障害者の自立と社会参加をより一層促進するため、建築物など生活環境面のバリアフリー整備の充実強化を図るもので、「くまもと・高齢者や障害者にやさしいまちづくり推進協議会及び同条例改正専門委員会」県地域振興局ごとに設置する「各地区やさしいまちづくり推進協議会」で協議・検討を行い、また、高齢者や障害者団体からの意見聴取を行い改正案を取りまとめました。

皆様のご意見をお寄せください。

（改正案については上記パブリック・コメントの URL からご覧になれます。募集期間は1月30日までです。）

・やさしいまちづくりフォーラムのご案内

“高齢者や障害者にやさしいまちづくり”を進めるためには、県民一人ひとりがやさしいまちづくりを正しく理解し、自分のこととして考え、自ら取り組んでいくことが重要です。

このフォーラムは、やさしいまちづくりに関する理解を深めるとともに、やさしいまちづくりを身近

なものと感じ、それぞれが自分の立場でできることは何かについて考え、実際に取り組む契機とすることを目的としています。

特に、今回は、主に県内外からの高齢者や障害者の観光客・宿泊者等への受け入れ態勢整備を意図した「宿」をテーマとしてやさしいまちづくりについての必要性やその手法を紹介し、参加者に対して取り組みへの関心を高めることができるような内容となっています。

日時 / 平成16年2月25日(水) 13:30~16:00(予定)

会場 / 熊本市国際交流会館 6階ホール

内容 / 第7回(平成15年度)くまもと・やさしいまちづくり表彰式

「心の輪を広げる体験作文・障害者の日のポスター」県表彰式

パネルディスカッション

「宿」をテーマに実施予定

入場料 / 無 料

参加者 / 県民、観光関係事業者等

その他 / 当日は、手話通訳・要約筆記を準備。

託児所も設置。

熊本県地域福祉メールマガジン

月刊「みんなでたのしく輪になって」 No. 1 1

【発行】 熊本県健康福祉部福祉のまちづくり課地域福祉企画班

記載内容に関するお問い合わせ、情報提供、ご意見、配信の解除、メールアドレスの変更など一切の連絡は、熊本県健康福祉部福祉のまちづくり課地域福祉企画班へお願いします。

E-mail: fukushimati@pref.kumamoto.lg.jp

TEL: 096-383-1185

FAX: 096-387-5992